

新型コロナウイルス感染症による事業活動への影響についての調査結果

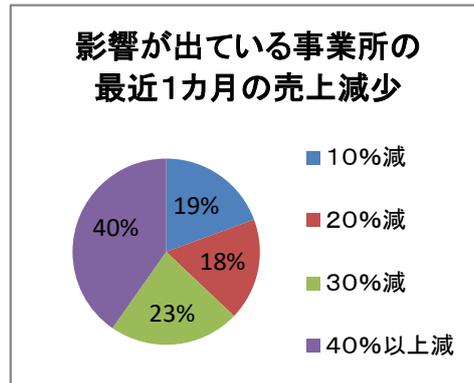
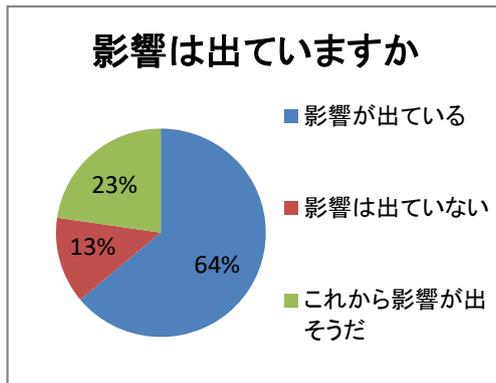
むつ商工会議所

新型コロナウイルス感染症拡大により会員事業所が受ける影響について把握し、施策の提言や要望活動など事業所支援に活かすためアンケート調査を実施した。

影響が出ている事業所の「最近1カ月の売上減少」では、「20%以上減少」と答えたのは合計で約80%となり、業種別では飲食業では94%、卸売・小売業では85%、宿泊業では75%と影響が大きかった。「資金繰りの状況」では、「既に厳しい」40%、「このままだと厳しくなる」47%と合わせて87%となり、資金繰りは厳しい状況にある。

「今後の事業見通し」は、「見通しが立たない」29%、「わからない」58%と、感染の終息の見通しが立たないなか、事業の継続に不安をのぞかせている。

必要と思われる施策については、「資金繰り」が最も多く、次いで「経営環境(雇用調整助成金等)」と、売上減少に伴う資金繰りと費用の支払いに苦慮している状況にある。また、助成金、給付金等の返済不要の施策を望む声が寄せられている。



1. 調査方法

- ・調査対象: 当所会員(4/1現在 1,093)
- ・調査手段: 4/5号会報へ調査票を同封し全会員へ送付、FAXで回答、4/20締切

2. 調査結果 回答数: 97件

Q1. 4月1日現在で事業に影響は出ていますか

①影響が出ている 62件、64%

影響が出ていると答えた事業所(業種別)		飲食業	宿泊業	建設業	サービス業 他	卸・小売業	計
最近1カ月の売上が前年と比較して、どの程度減少していますか。	件数	18	8	2	14	20	62
	10%減	1	2	1	5	3	12
	20%減	2	0	0	3	6	11
	30%減	5	0	1	3	5	14
	40%以上減	10	6	0	3	6	25
資金繰りの状況について教えてください。	件数	18	8	2	14	20	62
	既に厳しい	12	4	0	4	5	25
	このままだと厳しくなる	4	4	2	6	13	29
	当面は対応できる	2	0	0	4	2	8

②影響が出ていない 13件、13%

③これから影響が出そう 22件、23%

Q2. 今後の事業見通しについて

①見通しが立つ 13件、13%

②見通しが立たない 28件、29%

③わからない 56件、58%

Q3. 自社で必要と思われる施策(複数回答可)

- ①資金繰り(新規借入、既往債務相談、信用保証等) 45件
- ②設備投資 12件
- ③販路開拓 15件
- ④経営環境(雇用調整助成金、テレワーク導入等) 32件
- ⑤その他...助成金、給付金、社会保険料の免除、マスク・消毒液等